

さらにスキルアップをめざすピアノレスナーにおくる応援レター

Page Up

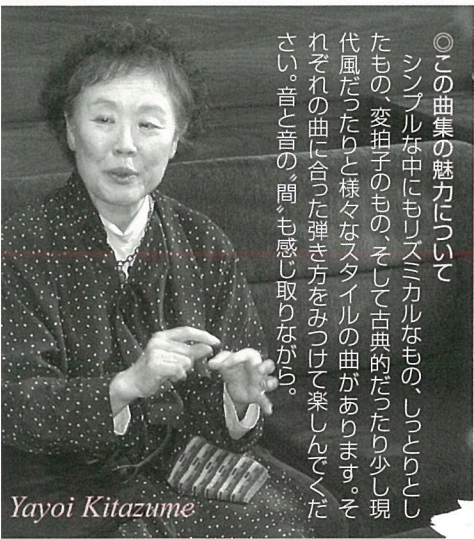
P-Up “ピーアップ”

PianoUp

Volume 23 Spring

カワイ出版

(株)河合楽器製作所・出版部 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-4 Tel.03-3374-7595 / Fax.03-3320-8477 / http://editionkawai.jp



Yayoï Kitazume

◎この曲集の魅力について
シンプルながらもリスミカルなものの、しっとりとしたもの、変拍子のもので古典型的だったり少し現代風だったり様々なスタイルの曲があります。それぞれの曲に合った弾き方をみつけて楽しんでください。音と音の間も感じ取りながら。

◎新刊「あしおとがきこえる」について
2010年に「空のおと 風のうた」を出版しましたが、少し易しいごとのピアノ曲も書き溜めたいと思っていた時に、今回の曲集のお話しをいただきました。
昨年大震災があり、そして母が山形の鶴岡出身ということもあって東北を思う気持ちが強くなっていました。昨秋には、福島、青森、宮城、山形でピアノ講座をする機会があり、たくさんの方々との出会いと被災地の風景がいつも心の中にあって、曲を書く原動力となりました。

Special Talk!
本音トーク



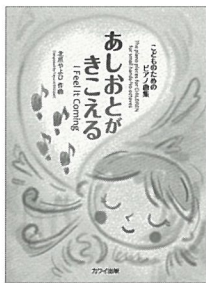
作曲家
北爪やよひ氏

◎プロフィール◎

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修了。池内友次郎、矢代秋雄両氏に師事。1972年「五作展」でINDICE72を発表。以後、深新會、現代音楽協会、日本作曲家協議会、日本女性作曲家連盟、国際芸術連盟等で、また演奏家等の委嘱により作品を発表。自然体で既成の枠に因りたらない、かつ音楽の根本を大切に作品を書き続け、音楽の持つ身体性と即興性、身体と声の多様な表現の可能性にも関心を持ち、近年は様々な人の集まりが、僅かな材料から豊かな空間を創り出してしまふ方法も探っている。また自ら声と小物楽器で交感ダンスのための即興演奏にも挑戦。パフォーマンス性があり空間を感じさせる作品も多い。
東京音楽大学及び同付属高校非常勤講師。

◎「動き」を取り入れたレッスン

生き生きとした音楽のためには、時々楽器と鍵盤から離れてみるのもよいでしょう。例えば空のベットボトルを使って、叩き方で違う音の変化を聴いたり、大きな布を先生と一緒に波の様に揺らしてみたり、時には歩いてみたり・身体全部が音楽につながっているのですから。



◎最後に先生方へのメッセージをお願いします

うまくピアノで歌わせられない時は、旋律にこぼを当てはめてみるのもおすすめです。声に出して歌うてからこぼを心の中にしまっして弾いてみると、前は違っていることに気づくでしょう。生徒さんと曲のイメージについて話しあったり、パート別に歌ったり、リズム遊びをしたり、時には絵を描いてみたりと色々な方法でのアプローチを工夫してください。呼吸はとても大事です。まず吐くことを忘れないようにしてください。息を吐く時に声を出してみてもいいでしょう。そうやってリラックスしてから弾き始めると、自分の内側の世界にも音の広がりを感じられるでしょう。

●カワイ出版ONLINEで楽譜サンプルやインタビューのムービーもご覧いただけます。

出版情報 & ショッピング



カワイ出版 ONLINE

http://editionkawai.jp

カワイ出版ONLINEはカワイ出版全商品の情報を掲載したサイトです。商品詳細には楽譜サンプルの他に、一部試聴用音源も用意しています。ご購入頂くことも可能ですし、定期的なキャンペーン、会員だけのお得な情報もありますので、ぜひご利用ください。



携帯サイトはこちら



がんばろう日本！つなごう音楽で！
～カワイは「日本の復興」を応援します～

カワイ出版では東日本大震災復興支援として、被災者の方々にエールを届けるため「歌おうNIPPON」プロジェクトを実施中です。詳細はこちらをご覧ください。
http://editionkawai.jp/utaou/

Twitterアカウント @editionkawai

カワイ出版の Twitter アカウントです。

facebookページ

http://www.facebook.com/editionkawai

こどものためのピアノ曲集 あしおとがきこえる

東北で出会った人々や風景に思いを馳せながら作曲。



こどものための邦人作曲家委嘱シリーズ。2011年の夏の終わりから冬にかけて書かれた小品集で、2010年に出版された同氏の曲集『空のおと 風のうた』よりも短く、少しやさしい曲集になっています。

東北への旅で出会った人々や風景に思いを馳せながら、人と人との間から生まれるものを大切に思い作曲されました。

大震災の後、私たちの(耳)心にきこえてくるのは、復興の足音、希望の足音であってほしいという願いが込められています。全体にシンプルでやさしい曲から難易度が少しずつ上がるように構成されています。

巻末に各曲の解説付き

収録曲

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. かわるがわる—2本の指で ふわふわと | 12. すてきなおはなし |
| 2. かわるがわる—3本の指で そうだったねえ | 13. どうどう巡りの話し合い |
| 3. 影の踊り—2本の指で | 14. 思い出すこと |
| 4. なにしてあそぶ? | 15. 影の踊り No.2—2つの5度 |
| 5. どうやって遊ぶの? | 16. よくかぞえてみて |
| 6. どうして泣いてるの? | 17. 終わらない悲しみ |
| 7. あっさりとした長いお話 | 18. つながっていくもの |
| 8. 5の踊り | 19. あしおとがきこえる |
| 9. ちょっと心配なこと | 20. ぐんぐん進もう |
| 10. あら、そうだったの?! | 21. 遠いよび声 |
| 11. 物語のはじまり | 22. 厳かなひびき—2つの5度 |

1. かわるがわる—2本の指で ふわふわと One after the Other - with Two Fingers - Fluting



北爪やよひ 作曲
菊倍判 / 52頁
税込定価1,785円
(本体1,700円)
グレード 初～中級

シンプルながら、色々なタイプの音楽を楽しめる

限られたスペースでもできる活動を紹介

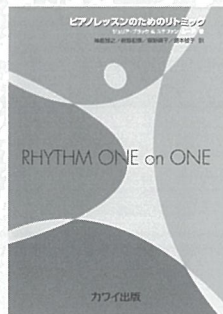
リトミックを、マンツーマンのピアノレッスンに應用。

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤

「集団で実践されるもの」として認識されているリトミックを、マンツーマンのピアノレッスンに應用する方法を紹介。ダルクローズの手法に基づき、狭いスペースでも実践できる様々なエクササイズを展開していきます。「ピアノの学習とは単なる鍵盤操作の学習ではなく、音楽の学習である」という気付きを、身体的な運動体験と重ね合わせて深めていく内容で、リトミックを学ぶ方にももちろん、すべてのピアノの先生におすすめの1冊です。



Alfred社刊行「RHYTHM ONE on ONE」の日本語翻訳書。

ジュリア・ブラック&ステファン・ムーア 著
神原雅之 / 板野和彦
板野晴子 / 善本桂子 訳
A5判 / 192頁
税込定価2,940円
(本体2,800円)

ピアノレッスンのためのリトミック

スカーフ、リボン、ボールなど小道具の使い方を紹介

著者

■ジュリア・シェンブリック博士
Julia Schnebly-Black(Ph.d)
ワシントン大学エクステンションプログラムのリトミック講座教授、アメリカ・ダルクローズ協会前会長。これまで30年以上にわたって、リトミックの指導者として活躍している。

■ステファン F.ムーア博士
Stephen F. Moore(Ph.d)
オーバーン音楽院のソルフェージュ講座教授。コンサート・ピアニストとして活躍するとともに、リトミック教育の指導者としても定評がある。

こ生徒は、ハンドドラムを持って向かい合います。

「3拍遅れてついて来てください。」
先生は1から5拍をバイナリーのリズムで鳴きます。
生徒は応えて鳴きます。(訳者註⑧)

「2拍遅れてついて来て。」(訳者註⑨)

生徒が、パターンに応えている間、先生は吹き続けて、様子を見ます。
に、できるようにであれば「カノン」に変えます。(訳者註⑩)

「1拍遅れてついて来て。」(訳者註⑪)

「はい、ストップ。」
生徒が一つのメロディからもう一つのメロディへ追いかけてカノンを、聴いたり演奏したりするためには集中力が必要です。こ...
りばしていくためには、このようなカノンの練習が必要...
メロディラインを演奏することは、たい...
メロディラインを歌い...

目次

- はじめに
- 第1章:身体をリズムにすること
- 第2章:教育環境
- 第3章:身体運動のリズムの基礎
- 第4章:スタジオでの應用
- 第5章:作品による解説
- おわりに
- 訳者解説

カワイ出版の楽譜・書籍のご注文は、お近くにショップがない場合、営業担当者にお申込みください。

ピアノ曲集

こどもたちへ

メッセージ 2012-1・2

第27回を迎える日本作曲家協議会主催「こどもたちへ」コンサートに準拠したピアノ曲集です。本年は29人の作曲家の新作を収録してしま。

◎収録作曲家

- ▽山口渡部賢士／安藤田由樹／竹内 淳／小栗克裕／神本真理／すずきしげお
- ／木下大輔／木幡由美子／中川俊郎／斉木由美
- (連弾)上 明子／西田由美子／大政直人／香月 修／川島素晴 (以上1巻)
- ▽山口鶴崎庚／奥 慶／北浦恒人／水野善子 新井善子／西澤健治／門脇治／前田佳世子
- (連弾)都平有美／鍋島佳緒里／望月たけ美／堀越隆／岡田正昭／金丸めぐみ (以上2巻)

■菊倍判／1巻52頁・2巻56頁／各税込定価1785円(本体1700円)初々中級

コンサートピースコレクション

約束の日

全日本ピアノ指導者協会(ピアノ)公募作品の中から優秀作品を収録。
 (1)ロゼッタ(空)佐藤 臣／だいききなみや(後藤ミカ)／かえりみち
 (北野善知)／けんけん飛び(徳備康純)／ピクニックへ行こう(渡部賢士)／タケのひこじ雲(後藤ミカ)／約束の日(秋元恵理子)／ストリート(斉藤まり)／Lost(原 文雄)／忘れられた翼(徳永洋明) 計10曲
 【連弾】おまじり(鈴木豊乃)／かかしのおどり(秋元恵理子) 計2曲

■菊倍判/40頁/税込定価1680円(本体1600円)初々中級

コンサートピースコレクション

想い (From My Heart)

全日本ピアノ指導者協会(ピアノ)公募作品の中から優秀作品を収録。
 (1)ロ想い(斉藤まり)／孤独な力ブリッチオ(徳備康純)／水(飯嶋純子)／Rolling(篠崎めぐみ) 全4曲

■菊倍判/24頁/税込定価1890円(本体1800円)上級

日本作曲家協議会 編



女声合唱

女声合唱によるキャンディーズ名曲集 年下の男の子

今もなお歌われ、慕われ続けているキャンディーズの名曲の数々を、おかあさんコーラス向けにやさしい編曲しました。「年下の男の子」「ハートのエースが出てこない」「一番」など全6曲。



壺井一歩 編曲

■A4判 48頁 税込定価1680円(本体1600円)初級

混声合唱

混声合唱曲 ころろよ うたえ

2011年に、福島県の高校4団の合同演奏会のために書かれた作品。東日本大震災により開催できなくなったことを受けて、2011年5月開催の京都合唱祭に4団が招待され、200人による初演されました。福島県の高校合唱祭の復興を印象つけた作品です。兵庫県の高校生の講習会でも使用されるなど、全国的に拡がって行く兆しを見せています。

■A4判 8頁 税込定価735円(本体700円)中級

女声合唱のための 今が美しい

2010年に書かれたやさしい女声合唱曲。甘く美しい旋律が人生の素晴らしさを讀みます。二部合唱から三部合唱へと展開。アンコールピースとして、また、おかあさんコーラスのレパートリーの一つとしてふさわしい作品です。コピー防止用紙を使用しています。

■A4判 8頁 税込定価735円(本体700円)初級

村田さち子 作詩／鈴木憲夫 作曲

幼児教育

幼稚園・保育園でのアンケートから生まれた簡易伴奏による

実用こどもものうた(改訂版)

既刊「実用こどもものうた」の改訂版。現場の声を取り入れ、より使いやすくなるため、曲の差し替えと指番号を追加しました。「アイアイ」「ドレミ」のうたに替わり「大きな歌」「楽しいね」「ゆりかごのうた」「赤い鳥小鳥」「鳩」を追加。簡易伴奏、右手は単旋律といった編曲方針はそのまます。

■A4判 112頁 税込定価2810円(本体2800円)



共編

あなたの作品を本にして、出版しませんか?

今、本の持つ豊かな表現力、長い生命、経済性などが見直され、個性的な作品や記念・記録、教育教材などを自ら出版される方が増えてきております。カワイ出版では、楽譜、書籍、絵本、教材などの多くの分野にわたる実績を生かして、著作権の使用申請手続きなどを含めて企画出版をお手伝いいたします。

また、著者のご依頼に基づき全国の主要カワイ楽器直営ショップでの委託販売もお受けいたしております。

【ご契約から完成までの行程】

ご契約 → 原稿整理レイアウト → 版下作成組版 → 校正 → 製作 → 納品

◎お問い合わせ先 (株)河合楽器製作所・出版部(カワイ出版) 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル5F

Tel.03-3374-7595 Fax.03-3320-8477(営業)

*詳細、その他のお問い合わせは、お気軽に上記カワイ出版までご連絡ください。



企画出版・自費出版のご案内

Webで自費出版の制作費用をご案内しています。
<http://editionkawai.jp/publish/contact.html>
 または、お電話等でご要望をお聞かせいただき概算見積もりをいたします。

Webで見積り

会 員 募 集 中

日本を代表する作曲家・三善晃が、20年の歳月をかけて書き上げた『Miyoshi Net「ピアノ・メソッド」』。発刊にあたり、現場で指導に携わるピアノ教師の声が反映され、その声の提供者となった先生方が運営委員となり、2000年4月に発足したのが『Miyoshi Net』だ。

Miyoshi Netは、年4回の会報発行、運営委員による指導法講座や公開レッスン、ピアノコンクールを開催しています。

日頃レッスンで悩んでいらっしゃる方、これからMiyoshi Netピアノ・メソッドを導入されようと考えている方など、ぜひこの機会に『Miyoshi Net』に入会ください。



● Miyoshi Net 入会のお申込み・お問い合わせ先
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-4
Miyoshi Net事務局(カワイ出版内)
Tel.03-3374-7595 Fax.03-3320-8477
<http://editionkawai.jp/miyoshi/>



音や旋律への意識を練磨する必要性。

「世界名歌全集」などを見ていると、ほとんど全部の歌を覚えていてことに驚くことがあります。いつどこかでこれらの歌を覚えてたんだろう。それも、雑多な曲で統一がありません。「うん、これも知ってる」。その続きは口をひいて出さねえわ。

よく、「意識は記憶の表層に過ぎない」と言われますが、普段意識していない記憶が大量に埋蔵されていて、時に応じて浮かび上がってくるという「自分」とは一体何だろって思わざるを得ません。「夢判断」など、こんなところから生まれているのかもしれないね。老境や病苦の時は、幼年時代の記憶が蘇ると言いますし、耳が何かの旋律に捉われてそれが離れないこともあります。

スプーン一杯の土のなかにも数億の細菌が棲んでいるように、自分を雑菌の巣だと引き受けて考えたうえで、当面の意識を練磨する必要があるそうです。言うまでもありませんが、雑菌のなかには有用なものも含まれているはず。

三善 晃 (Miyoshi Net会報76)